

第4回電気系高大連携協議会

■日時:2009年12月7日(月)13:30~15:40

■場所:宮崎工業高校 電気磁気実習室

以下、敬称略

1. 開会行事

進行 奥野

(1) 開催側代表挨拶(宮崎工業教頭 竹下)

高大連携協議会やJST理数系教員指導力向上研修事業をとおして、高校⇄大学間の関係がより密となることを望む旨の挨拶があった。

(2) 自己紹介および出席確認

(工業高校) 敬称略

延岡工・松本, 日高 日向工・瀬戸口
佐土原・長友
宮崎工・奥野, 徳永, 伊藤 小林工・吉田
都城工・前田, 黒木 日南工・川野

(宮崎大学) 敬称略

横田, 村尾, 淡野, 穂高, 迫田(文責)



2. 協議

進行:奥野, 迫田

①電気電子工学科の現状報告(JABEE 審査も含めて):横田

教育の取り組みとして、人材育成事業について紹介が行われた。(教育 GP、JABEE 含む)なお、JABEE に関しては、デザイン能力について改善を行っている旨報告が行われた。また、教育改革関係として、FD 報告会、英語教育改善、GPA(Grade Point Average)、学生との懇談会を行って、学生の希望・要望を聞き取れる仕組みについて紹介があった。更に、研究関係の取り組みとして、太陽光やロボットプロジェクトについて紹介が行われた。

②JST 理数系教員指導力向上研修事業実施報告と今後の取り組みについて:穂高

平成20年度のJST理数系教員指導力向上研修事業について報告を行った。その中で、テーマの選定の難しさについて説明があった。また、機械工学科が来年度は休止することを報告した。

また、今後について以下の3つの項目について検討した。

(1) JST 研修を継続するか?

次のような意見が出された。

- ・学習した内容を実習、職員向けの研修として活用できるものであれば良いのでは。
- ・教員や学生と触れ合うことができたので良い情報を得ることができる。大学側として負担が小さければ、続けて欲しい。
- ・実習回路を持ちかえることができたので、生徒に説明をすることができた。ただし、少人数向けのテーマは高校で必ずしも実施できるというわけではないので、難しさもある。
- ・初年度の中で手探り状態であったと思うが、若手教員は習うことができないので、自分の苦手分野を学習する場として有効と考えている。

以上のような意見を含めて検討し、基本的には継続していくという方向性を決めた。なお、穂高より、生徒を参加させることが可能かとの問いかけも行われた。(異なるカテゴリーに申請することになる。後述する冬休み体験授業と合同で行う提案もあったが、今後の継続課題とした。

(2) テーマ、数について

次のような意見が出された。

- ・昨年は学生実験のテーマ40テーマの中から選択してもらった。生徒と教員が一緒に取り組むテーマが確定していると参加しやすい。生徒からの希望は出ると思う。ただし、持ち帰ることができて繰り返し学習できるものが望ましい。
- ・HPを立ち上げて、そちらに問い合わせ頂くのはどうかと穂高の方から提案した。
- ・電気系は好評であるので、継続してやってほしい。SPICEとか掘り下げてもらおうと参加者はある。
- ・大学の実験の内容を知りたい。高校の実験内容を把握した上で、高校と大学でダブっているものをピックアップして、大学レベルのものを紹介できる。相互の情報交換が必要ということであった。

以上のような意見を検討し、HPで意見、要望を広く収集することになった。

(3)実施時期、テーマのすり合わせ、

次のような意見が出された。

- ・予算の組み方から考えると、10月以降の方が望ましい。8月実施の場合だと、6月までにテーマの確立と予算の組み立てが難しい。(穂高)
- ・10月、11月は校内行事が多いので参加が難しい。
- ・冬休みの生徒さんの体験入学との合同開催も検討したい。

以上のような意見のもと、今後、HPに集まった情報を基に検討していくこととした。

③推薦入試について:淡野

- ・入試方法の改善について紹介が行われた。推薦入試について大きな変化について発表が行われる。工業高校向けの学生さんに対してはセンター試験を課さない枠を設ける案が検討されていることの紹介があった。(36名の枠をどのように分けるか?)募集人員の内訳についても同様。
- ・推薦の募集について(推薦枠を活用していない理由があれば教えてほしいとの問いかけに対して:利用しないといったような事を決めている高校はないようであった。
- ・宮崎大学以外にも推薦入試は行われている。生徒さんの希望優先なのか、推薦枠を各高校で定めているのかとの問いかけに対して: 以下のような意見が出た。
 - =生徒は“国立”ということで選択して、その後大学を決めているようだ。
 - =進学か就職か2年から希望をとってコース分けして準備させている。最終的に大学の希望は、生徒の希望を優先している。(もちろん、成績等チェックは行っている。)
 - =年によって希望は異なる。
 - =制御系は進学希望が多いが、電気系は就職希望が多い。
 - =就職のPRが必要? 宮大の電気電子に行くのならここに就職できるというものがあればよりたくさん生徒が希望するのではないか?
 - =景気が悪くなると進学希望が大きくなる。

④電気主任技術者資格支援公開講座について:迫田

夏休み、および大学で行っている支援プログラムについて説明が行われた。

⑤冬休み・春休みの生徒さんの体験入学について:迫田

12月21日を締め切りとし、募集を行うことに決めた。研究テーマ、研究室については、迫田の方から工業部会に連絡し、その後、各高校に同情報を転送することとした。

⑥その他

- 1: アンケートのお願い

3. 閉会の挨拶 奥野